

住民の皆さんができること、行政に望むことについて意見交換しました。

	住民ができること	× (かける)	行政にしてほしいこと
災害への備え 	・コミュニティの維持 ・日頃の行事等でコミュニティの強化 ・災害時の住民同士の連絡網を整備 ・町内会で避難訓練の実施 ・相続登記を行う ・発災後に行う手続きの説明会を事前に行う ・避難の際の動きを住民同士で確認		・耐震化の補助対象を拡充 ・空き家問題の解決 ・相続登記の促進 ・相続登記の簡略化 ・罹災証明の簡略化 ・地番の整理 ・過去の区画整理に伴い、町内の境界がでこぼこになっているため、整理してほしい 
被災時の助け合い	・避難の際、近所の企業等と協力（事前に関係を築いておく）		・福祉避難所の増加 
復興まちづくり	・事前復興について、知識を深める ・事前復興に関して、住民同士で知っている情報を共有する 		・発災直後の仮設住宅の整備をできるだけ早く行ってほしい ・事前復興を周知していくことが必要 ・発災直後の仮設住宅の整備 ・復興について、周知をしてほしい（支援等） ・保育園の再開に向けた復興計画の整備 
その他 			・デジタル化を進める（マイナンバーを活用して） ・電柱を地下に埋める無電柱化を行ってほしい 

自助・共助・公助

●お知らせ

「地区別事前復興まちづくり計画（潮江地区）」の計画書が作成できましたらホームページ上に掲載させていただきます。

過去のワークショップニュースもホームページに掲載しておりますので、ご覧ください。

●お問い合わせ先

高知市 防災対策部 防災政策課
事前復興まちづくり担当
TEL : 088-823-9055
FAX : 088-823-9085
Mail : kc-080200@city.kochi.lg.jp

高知市 事前復興 まちづくり ニュース VOL.2

R8.8.6

6月27日（土）、リバーサイドホテル松栄で、潮江地区事前復興まちづくり計画第2回ワークショップ（潮江小学校区）を開催しました。今までの地域の方の意見を反映した「最終復興ビジョン」、「最終復興パターン」についての意見交換を行い、その後、「速やかに復興するために必要なこと」について、みんなで話し合いました。



潮江地区

事前復興まちづくり計画 第2回ワークショップ （潮江小学校区）を 開催しました！

地域の方
27名参加

ワークショップでいただいたご意見をまとめ、意見交換1は2ページ、意見交換2は3ページ、ワーク4は4ページに載せております。

※掲載スペースの関係により、すべての意見を載せてはおりません。ご了承ください。

●ワークショップの進め方・内容

地域コミュニティ計画の策定におけるアンケート結果を活用

- ・地区の良いところ・残したいもの、普段の生活で困っていることについて
- ・楽しくなるような未来のまちについて
- ・災害が起きる前にできることについて



- ・復興ビジョン（最終案）について
- ・修正復興パターン（最終案）について
- ・速やかに復興するために必要なことについて

決定！ 潮江地区 地区の目指すべき姿＝ビジョン

『絆を深め助け合い 暮らしやすさと安心を未来へ』

ワークショップでは、「いざという時に助け合える人のつながり（絆）こそが、復興には欠かせない」という熱い思いが多く寄せられました。また、身近な山々が「憩いの場」とであると同時に、「命を守る避難所」でもあるという潮江ならではの強みも再確認できました。

ビジョンには、今の便利で豊かな暮らし（自然と利便性）を守りながら、住民同士が手を取り合う（共助）ことで、次の世代へ「安心な潮江」をしっかりと引き継いでいくという強い決意を込めました。

【決定の経緯】

ワークショップ等で約7割（67％）の支持を得た案2をベースに、「人のつながり（絆・共助）」を復興の最も大切な柱とし、これに加えて、1案で評価が高かった「交通の利便性」と、3案で大切にしたいとされた「筆山・高見山の豊かな自然」の両方を、潮江の誇りとしてビジョンの構成要素に取り入れ、前向きな「安心」や「未来」という言葉を選ぶことで、子どもたちも覚えやすく、明るい希望が持てるスローガンとしました。

前回お示した地区の目指すべき姿＝ビジョン

- | | | |
|----|-------------------|---|
| 案1 | 第1回ワークショップにて提示 | 『つながる安心 自然と共に生きるまち』 |
| 案2 | 「防災」と「コミュニティ」を主軸 | 『深まる絆 災害にも強く、安心な暮らしを未来へつなぐまち 潮江』 |
| 案3 | 「自然」、「都市」、「歴史」を主軸 | 『自然と都市が調和し、歴史の魅力に溢れたまち
～山・川・海と共に歩む潮江～』 |

皆さまから出た意見

いいね！

- ・この復興ビジョンでいいと思う
- ・「自助」、「共助」、「公助」の要素が入っていて良い



皆様と歩む、これからの未来

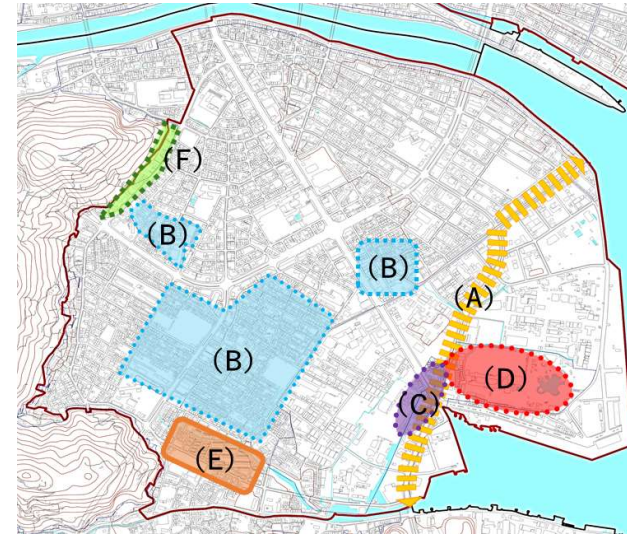
事前復興まちづくり計画の核となるビジョンにつきまして、多くの貴重なご意見をいただき、誠にありがとうございました。

皆さまの地域を想う熱い想いを踏まえ、検討を重ねました結果、本案『絆を深め助け合い 暮らしやすさと安心を未来へ』を最終的なビジョンといたしました。

このビジョンは、災害時に地域の復興を導く、私たちの指針として大切に受け継いでまいります。



(最終案)二線堤形成案

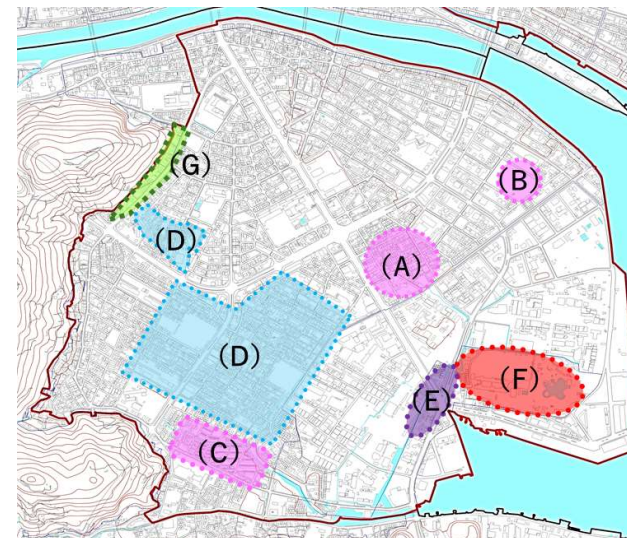


- (A) 二線堤
- (B) 土地区画整理事業
道路基盤整備検討
- (C) 建築制限による誘導
1階部分の非居住化
- (D) にぎわい形成
にぎわい施設の立地誘導
- (E) 市営住宅有効利用
空き室の利用を検討する
- (F) 土砂災害対策

「二線堤形成案」に対する意見

- ・二線堤によって街全体が守られるため、離れた人が戻ってくるのではないかな
- ・二線堤によって道路のアクセスや景観に悪影響を及ぼさないようにしたい
- ・二線堤の位置は、もっと外側の方がより全体を守れるのではないかな

(最終案)防災拠点形成案



- (A) 防災拠点+嵩上げ（賑わい+居住）
共同化、再開発事業による高層化
- (B) 防災拠点（萩公園：高台整備）
津波避難機能の整備
- (C) 防災拠点（市営住宅有効利用）
空き室の利用を検討する
- (D) 嵩上げ+土地区画整理事業
道路基盤整備検討
- (E) 建築制限による誘導
1階部分の非居住化
- (F) にぎわい形成
にぎわい施設の立地誘導
- (G) 土砂災害対策

「防災拠点形成案」に対する意見

- ・嵩上げをする際、高さがどれくらいなのか、道路との接続がどうなるのか気になる

共通意見・その他意見

- ・「区画整理」の範囲の根拠を明確に説明する必要がある
- ・区画整理の際に、公園を整備したい
- ・車両がすれ違える広い道路と歩道を整備してほしい
- ・にぎわい形成エリアをもっと広げたい
- ・「わんぱくこうち」と「旧南中高」を合わせたにぎわい形成エリアを整備したい
- ・わんぱくこうちが大事であるため、にぎわいという視点では一緒に考える必要がある

